



3年稲見(優)さん全国都道府県駅伝大会出場

1月21日(日)に行われた天皇杯全国都道府県対抗男子駅伝競走大会に3年生の稲見(優)さんが出場しました。稲見さんは6区3kmを8分57秒の自己ベスト、区間10位で走って茨城県チームを12位から10位に押し上げました。茨城県チームは最終的に9位と好成績を収めました。



第20回、21回「行動褒賞」の授与

12月22日(金)に第20回、21回の行動褒賞の授与を行いました。

1年4組の安保さんと生田さん、岡野さん、紺井さん、徳留さん、菌部さん、塙さん、廣田さんも11月6日から毎朝早目に登校し、学年落ち葉掃きボランティア活動に積極的に参加して校内の環境美化に努めてくれたと担任の大出先生から推薦がありました。

同じく1年3組の榎本さんと小島さん、片桐さん、加藤さん、高土さん、高野(愛)さん、高野(涼)さん、高橋さん、高松さん、仁平さん、根本さん、堀さんも11月6日から毎朝早目に登校し、学年落ち葉掃きボランティア活動に積極的に参加して校内の環境美化に努めてくれたと担任の市野澤先生から推薦がありました。笠間中生に優しい行動が広がっているのは、本当に素晴らしいことです。



笠中生にすすめたい一冊の本⑭

今回は、司馬遼太郎の「竜馬がゆく」を紹介します。

160年前の日本は、ちょんまげを結った侍が闊歩する国でした。現代からはかけ離れた社会です。いかにして今の日本に変化したのか? 立役者の一人である勝海舟は言います。「薩長連合、大政奉還、あれア、ぜんぶ竜馬一人がやったことさ」

坂本竜馬は幕末維新史上の奇蹟といわれる。かれは土佐の郷士の次男坊にすぎず、しかも浪人の身でありながらこの大動乱期に卓抜した仕事をなした。竜馬の劇的な生涯を中心に、同じ時代をひたむきに生きた若者たちを描く。

坂本竜馬は、私が尊敬する三人の中の一人です。大政奉還という大きな仕事をしてその利益を一つも自分のものにしようとしなない生き方は、とてもかっこよくて憧れます。私には竜馬と同じような生き方はとてもできないなと思いつつも、何度も何度も繰り返しこの本を読んてしまいます。

この生き方はかっこいい・・・そう思わせてくれる一冊です。

※このコーナーで紹介した本は、図書室に置いてあります。

